



週刊

こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎(752)0453 植田 進 ☎(487)9754
伊原 忠 ☎(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp

第249号

2016年1月5日

発行

日本共産党
八千代市議会議員団

八千代市大和田新田
312-5

勝田台駅南口にエレベーターの設置を

日本共産党は、勝田台駅南口にエレベーターの設置を求め、昨年の6月議会で質問しましたが、市当局は、「エレベーターの設置について交通事業者に呼びかけを行います」という回答でした。しかし、その後進展が見られないことから、改めて12月議会で質問をしました。

エレベーター設置の要求について、勝田台地域の自治会からも毎年のように市に提出されています。また市民から、電話や市長への手紙でもエレベーター設置の要望がたくさん届いています。

駅頭での宣伝の際にも、車イスの方から「危険な道を通って、わざわざ北口まで行かなければならないので大変です」また、高齢者の方は「遠回りなので高いタクシー料金を払わなければならないので負担になります」と訴えられました。

多くの市民はが、一刻も早くエレベーターができることを望んでいます。本来まちづくりは、誰もが安心して暮らせるようにならなければなりません。



バリアフリー化に背を向ける交通事業者

現在、勝田台駅南口にはエスカレーターが設置されていますが、常時「上り」運転です。「下り」を利用したい人は、インターホーンで駅に連絡、その後駅員の手によって、そのエスカレーターを「下り」の逆回転にしてもらわないと使えません。その間、『上り』を利用したい人は利用できません。「電話連絡すれば、上りも下りもどちらも使えるから利用者には迷惑をかけてはいない」というのが駅の説明です。

ある利用者の方は、「自分一人のためにわざわざ駅員を通して下りにしてもらうのは気が引けます」と話しています。また、上りを利用したい人のことも考えれば、だれにも気兼ねなく利用できるシステムが必要あり、だからこそ、エレベーターの設置が求められているのです。

八千代市は主体性を発揮し、交通事業者と話し合いを

勝田台駅が南北の人々をつなぐ交通の要であり、勝田台小学校の通学路になっていることも考えるなら、バリアフリー化は日常の生活上絶対欠かせないことです。

そのためには、八千代市が積極的に交通事業者である京成電鉄や東葉高速に働きかけ、八千代市も応分の財政負担をしながら、勝田台駅南口に一刻も早くエレベーターを設置すべきです。

高齢化社会を迎え、だれもが安心して交通機関を利用できるようにすることは重要な課題です。エレベーターの設置を求めて勝田台地域では署名行動が計画されています。皆様のご協力をお願いします。日本共産党は、地域のみなさんとご一緒に要求の実現に全力で取り組みます。